科目名 (英)	関係法規	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (1単位)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日1～3限 金曜日3～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師養成施設の講師歴は16年です。高等学校第1種免許(公民)取得、更新済みです。 美容師として働くうえで遵守すべき法令や知識を学ぶ科目です。法律や制度に関する専門用語をわかりやすく伝えます。							
目的:美容師法を学び、美容師として公衆衛生の向上に役立てること、また法令違反をした場合の行政処分や罰則について学び、法令順守を理解することを目的としています。							
概要:美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、美容師法や美容業に関連する様々な法規について学び、美容師として、開設者として遵守す							
【授業を通じての到達目標】							
美容師・経営者(開設者)が遵守すべき法令を理解する。 基本的な法律用語や知識を身に付ける。 ルールを守り、美容の業を適正に実践する美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 関係法規・制度、法令集							
回	授業概要					テスト配点	
1	本科目の説明 社会生活における法の役割、法の形式、衛生法規の概要、衛生法規の分類						
2	衛生行政の意義と歴史、衛生行政の分類、保健所の役割					小テスト 2点	
3	美容師法の目的、用語の定義、美容師養成施設					小テスト 2点	
4	美容師試験、免許の申請と登録、欠格条件					小テスト 2点	
5	美容師の義務(衛生措置、美容師免許の変更・紛失などの手続き)					小テスト 2点	
6	免許取消処分・業務停止処分 管理美容師					小テスト 2点	
7	中間試験 (中間試験終了後)美容所を開設するための手続き					中間試験 20点	
8	中間試験の解説 美容所の開設届、検査確認、重複開設、開設者の継承					小テスト 2点	
9	開設者の義務(衛生措置) 美容所以外での業務、立入検査と検査確認					小テスト 2点	
10	行政処分と罰則					小テスト 2点	
11	衛生に関する法律					小テスト 2点	
12	業の振興に関する法律・雇用に関する法律					小テスト 2点	
13	消費者保護に関する法律						
14	定期試験					定期試験 60点	
15	定期試験の振り返り・総まとめ(練習問題)						
【特記事項】 小テストは、Teamsを使用します。 中間試験、定期試験は、問題と解答用紙を配布して実施する予定です。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 (月)3組1限/2組2限/4組4限 (火)5組1限/1組2限
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、美容技術理論・衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 美容の基礎知識であるため、内容を理解できるよう、パワーポイントやプリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなど演習問題を解きながら授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
実際にサロンでも活かせるよう、ポイントを踏まえながら理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	美容技術理論を学ぶにあたって・美容用具						
2	美容用具						
3	シャンプーイング						
4	シャンプーイング					小テスト 5点	
5	ヘアデザイン						
6	ヘアカットイング						
7	ヘアカットイング					小テスト 5点	
8	中間テスト					中間テスト 20点	
9	パーマネットウエーピング						
10	ヘアセッティング						
11	ヘアセッティング					小テスト 5点	
12	ヘアカラーリング						
13	ヘアカラーリング					小テスト 5点	
14	定期テスト前演習・復習						
15	定期試験					配点 60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容実習 美容実習 I	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	森口、中尾、前田、中山、佐々木、伊東、徳山、佐藤、山下、赤羽、田丸、山崎、中村、松永、長塚、北村、鷲尾、萩尾、小笠原、八谷、前川、手塚、板川、奥田、吉井、坂下、若林、井上
	学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	270 (9)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現役でサロンに勤務する美容師、ヘアメイクアーティストが将来実践の現場で活用できる技術、知識を基礎から応用まで習得できる授業を行う。カット、サロンワーク、カラー、シャンプー、ヘアメイク、メイクなど美容師としての技術全般を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後即戦力となる人材になる基礎を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授業概要					テスト配点	
1	カット基礎技術 ①						
2	カット基礎技術 ②						
3	カラー基礎技術 ①						
4	カラー基礎技術 ②						
5	カラー基礎技術 ③						
6	シャンプー基礎技術 ①						
7	シャンプー基礎技術 ②						
8	シャンプー基礎技術 ③						
9	シャンプー基礎技術 ④						
10	サロンワーク基礎技術 ①						
11	サロンワーク基礎技術 ②						
12	サロンワーク基礎技術 ③						
13	サロンワーク基礎技術 ④						
14	メイク基礎技術						
15	ヘアメイク基礎技術						
【特記事項】 定期テストは模擬試験の結果を基に評価を行います。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・神谷・尾崎・野村・長谷川
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験のある教員が、自己分析、グループワーク、お客様体験を通して、職業観を養う。 レクリエーションを通し、自己受容・他者信頼・他者貢献を養い、職業人に必要なコミュニケーション力やプレゼンテーション力を身に付ける。							
【授業を通じての到達目標】							
自分の強みを理解し自己肯定感を高める。また他者を受け入れることができる。 地域の特性を生かし、業界、職業理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				毎授業ごとにポータルサイト確認			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	teams活用方法・ポータルサイト・自己管理・ITリテラシー・Plab						
2	コミュニケーション力向上のためのグループワーク (ito)						
3	原宿MAP(サロン散策)						
4	原宿MAP(goodnoteの使い方・map作成)					小テスト10点	
5	自己分析(認知特性)(MBTI診断) クラス分布						
6	自分史① / チームワーク向上のためのグループワーク(はあていうゲーム)						
7	自分史② / 伝達力向上のためのグループワーク (LEGO)					中間テスト20点	
8	クラス親睦会						
9	自分の「好き」を明確化しよう コラージュ①						
10	自分の好きを表現しよう コラージュ②						
11	職業理解(お客様体験 前教育)						
12	職業理解(お客様体験 後教育)					小テスト10点	
13	チームワーク向上のためのグループワーク						
14	業界講話(タレント系)						
15	前期振り返り					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) 評価(60~69点) 評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

尾崎

尾崎

尾崎

尾崎

尾崎

長谷川

長谷川

野村

神谷

神谷

野村

野村

岩本

岩本

尾崎

D
E評

科目名 (英)	ヘアメイクアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉原・鈴木・吉村
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 月・金(1・2・3・4限)火(3・4)
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>都内で、美容師を経験後ヘアメイク転向。スチール、ブライダル、PVなどのヘアメイクの現場での経験を活かし美容師になった時に撮影などで役に立つテクニックを活かせるような技術を取得していく。 ヘアアレンジではコテやピンニング、道具の使い方、アレンジの技術を基本から学び、サロンで使える様々なヘアアレンジが出来るようにメイクでは道具の種類や扱い方、メイクアップの1つ1つの技術を学び、相手に似合わせたメイクアップが出来るような技術を取得していく。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>ヘアアレンジ授業ではブラシやピンなどの道具の使い方から、編みこみやツイスト等のアレンジテクニックのを学び、現場で活かせる基礎を習得する。 メイクでは道具の扱い方を覚え、ベースメイクやアイメイク・骨格に合わせたチークの入れ方・リップメイクなどナチュラルメイクの基本的習得。流行や時代性に合わせたメイクを表現できるようにする。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
《メイク》メイク道具一式 材料3枚 小さいピン・袋 タカール ティッシュ コットン 綿棒 《ヘア》ウィッグ クラフ 材料 コテ ストレイトアイロン コム ブラシ類 タカール ピン・ゴム類							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【メイク】メイク道具の使い方ポリゴンメイク、クレンジング スキンケア・ベースメイクの基礎知識と手法						
2	【メイク】前回の授業の復習(スキンケアベースメイク小テスト) コンシーラ パウダー、ブラシの使い方・アイシャドウの基本(縦割り・横割りグラデーション)						小テスト(5点)
3	【メイク】アイラインの種類別引き方・ビューラーの使い方・マスカラのつけ方						
4	【メイク】アイブロウの理論説明・種類と描き方 アイブロウ小テスト						小テスト(5点)
5	【メイク】リップ・チークの理論と描き方						
6	【メイク】男性・韓国メイク						
7	【メイク】女性・韓国メイク 小テスト						小テスト(5点)
8	【メイク】中間試験のデモンストレーション・練習						
9	中間試験(フルメイク40分)						20
10	【ヘア】ヘア道具・ピンの種類説明・ピンニングのやり方						
11	【ヘア】くるりんぱ・ツイスト・波ウェーブを使ったアレンジ小テスト						小テスト(5点)
12	【ヘア】裏・表編み込みやり方と編み込みを使ったヘアアレンジ						
13	【ヘア】紐ゴムの使い方と一束のまとめ方・ポニーテール						
14	【ヘア】期末試験のデモンストレーション・練習						
15	【ヘア】期末試験(実技試験:編み込みハーフアップ、筆記試験:メイク知識)						60
【特記事項】				【評価について】			
				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</p> <p>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	美容総合技術 I Beauty Politeknizm I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷・長谷川・安田・松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月・木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生たちの持つイメージをスタイリングなどで表現し具現化できるように、美容師及び美容学校で長く実務経験を持つ教員が、実習を通じて授業を行い、技術をアピールする基礎力を身につけることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。 作品撮りの基礎手順・技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad、名札、エプロン、クランプ、茶髪スーパーロングウィッグ、テールコーム(ピンク)、ダックカール5本以上、延長コード タオル(何色でも可、授業内容により枚数は変わる)、カールアイロン、ストレートアイロン、スプレーヤー(トリートメントが入っていないもの) シザーケース(何も入れなくて良い)シザーケースはあってもなくてもどちらでも可 油性ペン							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズ】 ストレートアイロン技術						
2	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズ】小テスト ストレートアイロン技術					小テスト5点	
3	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズMIX巻き】【スパイラル】 ストレートアイロン技術						
4	カールアイロン技術 【フォワード・リバーズMIXスパイラル】小テスト 【波巻き】 ストレートアイロン技術					小テスト5点	
5	カールアイロン技術 【波巻き】小テスト ウィッグのカット					小テスト5点	
6	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 カールアイロン技術 【レディースセット応用】						
7	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 カールアイロン技術 【レディースセット応用】						
8	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 【相モデル アイロンワーク】						
9	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 【相モデル アイロンワーク】						
10	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 小テスト 【相モデル アイロンワーク】					小テスト5点	
11	相モデル アイロンワーク 中間テスト 作品撮りコンセプト作成					中間テスト20点	
12	作品撮り本番						
13	作品撮り(サロン)						
14	動画作成(外部講師)						
15	動画/作品撮りコンペ					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			